

人体解剖実習を終えて

献体として提供をしてくださった方、ご遺族の皆様には感謝申し上げます。私達や、医療の発展の為にご献体してくださった意志を尊重し、私たちは真剣に実習に臨みました。

私たちの班が解剖させていただいたご遺体には、ネイルをされていた跡がありました。私たち班員はそのネイル跡を見て、そのご遺体の歩んでこられた人生を垣間見、私たちがこれから関わっていく方々の命の重みや、医療従事者としての責任を深く再確認しました。

解剖を行う上で、特に頭頸部の解剖では、血管や神経の走行に個人差が多くみられ、教科書の知識だけでは得られないことを多く学ばせていただきました。細心の注意を払って臨床に臨まないといけないことを痛感しました。

このような学びの機会をいただき、本当にありがとうございます。解剖実習を通して、歯科医師として大きな責任を感じるとともに、さらに知識や経験が求められること、今後も継続して学び続けていかなければならないことを実感しました。この実習により、今まで以上に医学に対して興味が湧くきっかけとなり、日々精進していくことを決意しました。

解剖学実習を終えて

まずは、献体して下さった方、そのご遺族の皆さんが未来の医療のため、私たち医療系の学生のために貢献して下さったことを感謝申し上げます。ありがとうございます。

この解剖学実習のおかげで、私たちは医療にかかわる人間になるのだと、より自覚を持つことができました。また、講義だけではわからない、実際に見ないとわからない部分を理解するためにこの解剖学実習があり、そのための予習、用語の確認をしつかりと行うことが大切なのだ和理解することができました。それと同時に私の手先の技術と、今日も働かれている医療人の手先の技術の差に驚きました。私が手術することはまだまだ到底できないと実感することができたので、これからあと四年半で大きく成長しなければならないのだと覚悟を決めることができました。これからの学習意欲につながりました。

改めて、献体して下さった方、並びにそのご遺族の方々に感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。

解剖実習を終えて

まず、今回献体してくださった方とそのご遺族の方に心より感謝申し上げます。

二年次に上がり様々な専門科目を学ぶ中で、解剖学という人体の構造を理解するために最も重要な科目を学ぶことができるということに対して、大変北が高まっていました。また、解剖実習を行なうことで座学だけでは得られない学びがあると確信していたと同時に、ご遺体を解剖するという経験のないことを行なうことへの不安も感じていました。そして、解剖実習が始まる日、ご献体してくださった方を拝見した時、様々な感情が込み上げてきたのを覚えています。緊張、不安、これから学びを得られることへの期待、多くの思いが私の中を駆け巡りました。実習が進み、教科書の記述と異なる構造を発見するたびに、人は皆それぞれだけの個性を持っているということを実感しました。そして、様々な人に対して本気で向き合うことのできる歯科医師になりたいと改めて強く感じました。この実習では解剖学の知識だけでなく、人間としての成長を実感することができました。

最後に、献体してくださった方とそのご遺族の方に改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

貴重な体験

私はご遺体を解剖することはとても貴重な体験だったと思う。人間の身体がどのようにできていてどのような働きをしているのかを実際に見ることで教科書以上のことを学ぶことができた。献体してくださった方々がいらっしゃることで私たちもこのような体験ができるので感謝したいと思った。ご遺体を解剖したという経験を活かして少しでも医療の発展に繋がるように精進していきたいと思った。

私は歯学部に属しており、他の学校では全身のご遺体を解剖する機会があまりないと聞き、いい体験だったなと思った。頭頸部も体全身とつながっており、どこの動脈が大切でどこに神経が通っているかなど、細かく見ることができたのでよかった。また、全身の単語を覚えながらご遺体を解剖することで、どの部位がどの名前でどこから分枝したかなどを理解しながらみることができた。今後の学習や実習などでもこの経験を糧にしっかり学び、立派な歯医者になろうと思った。

解剖実習で得たこと

献体してくださった方々、並びにご遺族の方々、解剖という貴重な機会を与えていただきありがとうございました。この三か月間の実習で座学だけでは決して得られない、あるいは想像し辛いことをたくさん学ぶことができました。

解剖する前は手順と共に図やイラストを見て上手くできそうだと思いました。実際に解剖してみると教科書や参考書よりもずっと複雑で驚きました。特に神経を見つけ出すのにはとても苦労したのを覚えています。そして座学で学んだことを最大限活用できるように精一杯頑張ろうと思いました。これを分かりやすい図に描き換えた先人たちの努力は計り知れないと感じました。そして献体してくださった方々によって血管や神経の位置が多少異なっていたのでマニュアル通りではなく臨機応変に対応しなければならないと実感しました。改めて、献体してくださった方々及び御遺族の方々、本当にありがとうございました。この実習で学んだことを生かしながらこれから歯科医師になるための勉学に励んでまいります。

解剖実習を終えて

まず、私たちの医療の学びと発展のために献体して下さった方々、及び御遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

教科書で学ぶことは簡単で、また教科書には大変単純明快な説明や図が記載されています。しかし、実習を通じて自分の目で実際に見ることは教科書で学ぶことと比にならないほど鮮明に記憶として、知識として残ります。自分の手で実習を行い、教科書のように単純ではなく複雑であるということを経験することは、この先、より専門的なことを学ぶ際に非常に大きな糧となると感じています。私たち医療学生の勉学のために協力、献体して下さる方がいらっしゃるからこそできる貴重な体験であると思います。重ねてお礼申し上げます。

今回解剖実習をさせていただけたことで、生命の重みを感じることができたとともに、将来歯科医師になるにあたって今後の勉強にも非常に役立つと感じました。解剖実習を通じて学んだことを胸に、立派な医療人となれるよう精進してまいります。

解剖実習を終えて

約二か月に及ぶ解剖実習が終わりました。私が生きてきた中で最も濃い二か月間でした。

解剖実習初日、黙祷してご遺体と対面したあの瞬間の感情は、一生忘れないと思います。初めのころは緊張感に包まれ、自分自身で実習を進めていけるか不安を感じていましたが、だんだんとそのような気持ちは和らぎ、純粋な興味と学びに対する意欲がわいてきました。私たちは解剖実習が始まる前に人体の構造について講義を受けていましたが、頭の中に断片的な知識が集まっているような状態でした。しかし実習を通してそれらの点と点がつながっていき、感銘を受けました。また、実習を重ねるごとに、献体してくださった方への感謝の気持ちが増えていきました。また、学んだことを確実に自分のものにできたように感じます。

解剖実習の授業は献体してくださる方々の協力がなければ成立しません。献体してくださった方とその方のご家族に感謝申し上げます。この貴重な経験を活かし、これからも勉学に励みます。そして一人でも多くの方を幸せにできるような歯科医師になります。

解剖実習を終えて

今回の解剖実習では、とても貴重な経験をさせていただきました。今まで持っていた知識は教科書や講義から得たものであり、漠然とした不十分なものでした。実際に解剖実習を通して自分の目で見ることで、持っていた知識と結びつけることができただけでなく、今まで間違って持っていたイメージの訂正や新しい具体的な知識の獲得をすることができました。また、この経験は初めて人の体内を直接見ることができた機会であり、これを通して将来の歯科医師像がより鮮明なものになりました。歯科医という職業は実際に人を治療する仕事で、とても重要な職業であると共に大きな責任が伴うということを再確認できました。献体してくださった方の命を無駄にしないよう、将来立派な歯科医にならなければいけないという自覚をもって、これからも勉学に励んでいきたいと思っています。

最後に、献体してくださった方々、そしてご遺族の方々、この度は学ぶ機会をくださりありがとうございました。心より感謝申し上げます。

解剖実習を終えて

まず、献体をしてくださった方、及びご遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。貴重な体験をさせていただくことができました。本当にありがとうございました。

私たち二年生は今年から専門課程が始まり、歯学に関する授業を受けていましたが、教科書で知識を学ぶだけでなく、実際に解剖をさせていただくことで深めることができました。私は歯学科に所属していますが、今回全身を解剖させていただいたことによって人体はそれぞれの部位で独立しているのではなく、血管などの構造でつながっており、お互いに作用しあって機能していることを学ぶことができました。この学びを活かして、口腔の治療を通して、全身の健康を改善、そして維持させるケアを行う歯科医師になりたいと思います。また、人体はとても複雑な構造をもっており、全てを理解するためには努力を怠ってはいけないと強く感じました。医療を通じて社会に貢献できるようこれからも邁進してまいります。

このようなコロナ禍の中で、実際に解剖実習を行うことができるのは本当にありがたいことです。ご協力してくださった献体をしてくださった方、そしてご遺族の皆様に改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

人体解剖学実習を終えて

実際に解剖学実習が始まるまでは自分をご遺体を前にして何をするともできないくのではないかと不安な部分が多くありました。しかし、実習室に入りご遺体の前で実習班の班員全員で黙祷したときに献体してくださった方への感謝と共に、その方が献体してくださった経緯についても考えました。それを考えた時に、この方は私たち学生が学ぶために献体してくださったのだから私もその期待に応えなければならぬと感じました。それから不安な思いも消え、教員の先生方のサポートを受けながら人体について様々な情知知識得ることができました。

今回の解剖学実習では教科書だけではわからないことを多く学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。実習が始まるまでは人の身体は教科書に書かれている通りの構造をしているものだと思っていたし、個人差があるものだともおもっていませんでした。献体してくださった方々がいらっしゃらなければこのような経験ができていなかったと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。今後は、献体してくださった方の気持ちも背負って社会に貢献できる歯科医師になれるようより一層努力してまいります。

貴重な経験を通して

まずこの度は私たちの医学の教育のため献体してくださりありがとうございました。私たちは、解剖実習に臨むにあたり、様々な不安や責任感を常に感じながらおこなうことができました。実習中は教員の適切な指導のもと、今までに学んだ知識と照らし合わせながらさらに理解を深めるとともに、座学や書物のみでは理解することの難しい内容も学ぶことができたと実感しています。また、献体してくださった方と御遺族への感謝を胸に実習を行いました。改めてここで、感謝御礼申し上げます。

医療従事者を志す者として、この度の大変貴重な経験は忘れることはできなく、この先の自分にとって間違いなく一番の学びや経験となりました。この経験をさらに活かせるようにこれからも日々精進してまいります。また、今まで以上に医歯学に対する興味や熱意を抱くきっかけとなりました。この感情を忘れることなく、これからも日々勉学に励み、人々から頼られるような医療人を目指します。この度は誠にありがとうございました。

貴重な学びの場を頂いて

まず、解剖実習の献体にご協力いただいた方々、そしてそのご遺族の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。この度は私たち医歯学生に貴重な学びの機会を与えてくださって大変ありがとうございました。

二年次に解剖実習があると聞いてから、私たちにはまだ早いのではないかという思いを抱き、その思いが拭えないまま、解剖実習を開始したことを覚えています。献体をしてくださった方々やそのご遺族の方々に失礼があつてはいけなさと胸に刻み、予習に励み、ご遺体を解剖させていただきました。実際にご遺体に触れ、解剖させていただきながら、講義内容と照らし合わせて確認をしていき、机上では学びきれない、あるいは想像しづらい人体の構造を拝見させていただきました。学習内容もちろんのこと、それに加えて歯科医師として学ぶ自覚と意欲も改めて確認することができました。

高校や大学で学んだ人体の構造をこの目で見て学ばせていただいたことは、今後一生忘れることのできない非常に貴重な経験でした。この経験は間違いなく今後の学習や実習に活きるものでした。これからの五年間も意欲的に学習に臨みたいと思います。大変ありがとうございました。

解剖学実習を終えて

初めに、献体してくださった方々に心から感謝しています。そして、ご遺族の方々、献体の会の会員の方々にも深く感謝の意を述べたいです。

私自身が人体の構造について深く学ぶ機会を得られたことは、多くの方の協力のもとであったことを改めて考えると、解剖学実習は私にとって、とても有意義な実習でありました。

今までの学習では、教科書を見て学ぶことが多く、当たり前ですが、教科書は分かりやすく書かれています。しかし、教科書による学習だけでは実践にはあまり役に立たないことを実感しました。教科書よりも人体の構造はより複雑で、わかりやすいものではありません。今回の実習が将来の私自身にどれだけ影響を及ぼすかは言うまでもないでしょう。

歯の病気は全身に関わるといわれる時代で、頭部だけでなく全身の構造をこの目で見て学ぶことができたことは今後学生生活で学ぶ際にも大きく貢献すると思います。献体してくださった方々、そして皆様の意に沿った歯科医になれるよう日々精進してまいります。本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて

初めに、ご献体してくださった方、及びそのご遺族の皆様へ、心より感謝申し上げます。実習全体を通して、多くの貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

今回、実習をするにあたって、全てのことを吸収し、自分の糧にする、という意識で臨みました。その中で、筋肉と骨、神経の走行や位置関係が教科書通りではないことも多々あり、人体の構造の奥深さや個人差を実感しました。実習当初は初めてのことはかりで、うまくいかないことも多くありましたが、班員と協力しながら解剖を進めることで、筋肉や骨、神経など、名前と位置関係を紐づけて覚えることができました。

コロナ禍の影響で、対面での実習をほとんど行えていなかった私は、真の実習がいかなるものなのかを学ぶことができたと思っています。実習とは“学んだことを実際に自分の目で見て習得する”ことだと感じました。

この実習での貴重な経験を無駄にしないためには、今後の学習が非常に重要になると思います。歯科医を目指すうえで、これからも実習の機会を大切にしていきたいと思います。

医療従事者になるための心得

解剖学実習は、将来医療従事者となる学生として大変貴重な経験となりました。実習を通して授業で習った人体の構造を学ぶとともに、人間の生と死について考えることができました。

教科書の図とは器官や血管の大きさ、位置、そして形がことなっていることもありました。個人差もありました。一人の献体してくださった方と向き合うことによって、座学のみでは得られない知識や精神を身につけることができました。これから本格的に歯学の勉強が始まっていく中で、それぞれの患者さんに合わせた治療方針を決められるようになりたい、そう思うようになりました。そのためにも、授業や参考書を通して得られた知識を実際の臨床の場へと応用する力をつけていきたいです。

最後になりますが、献体してくださった方、ご遺族の方々、そして解剖学実習に関わってくださった先生方に深く感謝申し上げます。三か月の実習で得られた知識や感じたことを忘れることなく、歯科医師として社会貢献できるようにします。ありがとうございました。

解剖実習を終えて

この度は献体してくださった方々並びにご遺族の方に深く感謝申し上げます。私たちにかけがえのない学びの場を与えてくださってありがとうございました。

この解剖実習は、東京医科歯科大学に入学してはじめての実習でした。解剖実習を通して、自分が医療者になるという実感や覚悟が湧いてきました。

私は将来、人々の健康寿命の延伸と生活の質の向上に貢献できるような歯科医師になりたいと思っています。そのためには、歯科のことだけでなく医科のことともわかる歯科医師になりたいと考えています。今回の解剖実習で実際に全身のことを時間をかけて詳しく学べたことは、自分の将来の歯科医師人生にとってとても大きなことだと思います。

献体してくださった方々の想いやご遺族の方の想いに応えられるような歯科医師になれるよう、精進してまいります。

非常に多くのことを学んだ三ヶ月でした。この学びを生かして、今後も勉学に励んでいきます。本当にありがとうございました。

解剖実習という貴重な経験を通して

はじめに、医学、歯学教育の為に献体してくださった方々、並びにご遺族の方々に心より感謝を申し上げます。実習を行った約二ヶ月間、代えがたい貴重な経験と沢山の学びを得ることが出来たのはひとえに皆様の協力があったのもです。

実習に先んじて人体の構造などを学んできましたが、実際にご遺体を解剖させていただくと教科書通りでないことも多く、また教科書だけでは理解しがたい複雑で繊細な構造を自分の目でしっかりと観察することができ、その度に解剖をさせていただけることのありがたさが増していきました。私は歯学生であり、この先全身の構造を深く学ぶ機会は医学生に比べ少ないかもしれませんが。しかしこの実習を通して、真剣に人体を見つめ、解剖させていただけたことはとても貴重で医療に携わる者としての責任を感じさせるものでした。実習の初日、ご遺体を初めて見た時に湧き上がった緊張感と感謝を忘れることなく、勉強に励んで参ります。

最後になりますが、献体して下さった方々、ご遺族の方々、そして献体の会の会員の皆様方に改めて感謝を申し上げます。皆様の思いに恥じないような医療人として精進して参ります。ありがとうございました。

解剖学実習を終えて

献体してくださった方、ご遺族の方々をはじめ、今回の人体解剖学実習に関わってくださった皆様、このような貴重な機会を本当にありがとうございました。

初めてご遺体を見てメスを入れたとき、本当に医療を学ぶ道に進んだのだ、と緊張しました。しかし同時に自分の中での覚悟が決まったようにも感じました。実習は思った以上に変でしたが、実際に手を動かして学ぶことでより理解が深まりましたし、立体的に構造を理解することができました。この実習がなければ、人体の構造についても教科書や立体構築デルを用いた学習しかできなかったと思います。そして人体の繊細さ、人の命の尊さを感じ、一生忘れることのできない実習となりました。

たくさんの方のご尽力によって得られたこの経験を通して、将来医療従事者として社会に貢献したいという気持ちを再確認することができました。そして皆様の期待にこたえられるように、残りの学生生活でも多くのことを吸収していきたいです。

解剖実習を終えて

まず、献体をしてくださった方、及びご遺族の方々に心より感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

初めてご遺体を見た際、医学のために決心をしていただいた方の身体で実習させていただくということを実感し、緊張しました。ご献体をしてくださった方がいなければできないことなので、学ばせていただけることに感謝して臨みました。自分の手を動かし、目で見て、感じることができ、座学や教科書からは得られない知識や経験を得ることができました。教科書とは違う点を知ったり、授業で学んだ構造を見つけたり、印象的で貴重な経験をさせていただきました。二年次になり、専門科目として解剖実習に取り組み、より医療人になるのだということを実感し、頑張らなければならぬと感じました。この実習で学んだことは、これからの学びや、歯科医師になった後にもずっと生かせると思います。

最後に今一度、ご献体してくださった方、ご遺族の方に感謝を申し上げますと思います。本当にありがとうございました。

解剖実習がもたらしてくれたもの

人体解剖実習はこれまでの大学生活のなかで最も濃い体験でした。

解剖実習が始まる前は、果たして自分がやり遂げられるのか不安で、初日は実習室に入るのを躊躇うほど緊張していました。しかし勉強させていただくご遺体と対面した時、自然と自分は医療従事者になる立場として、この方と真摯に向き合おう、そして時間の許す限り多くを学び吸収しようと強く感じたのです。そして日を重ねご遺体と対面する度に、心の中で問うこともありました。どんな人に囲まれどのような人生を送られ、また最期は何を思いながら旅立たれたのですかと。

実習が終わったいま、人体が精巧で多様性に富んでいるということの知識を得ることができ、人間そのものの見方が大きく変わったと自覚しています。この実習を通して、歯科医師を目指して勉学に励むための基盤や自覚が一層明確になりました。一生忘れられない経験です。

私達のため献体を決意してくださった故人とご家族の方へは尊敬の念に堪えません。改めて献体してくださった方へ、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

解剖実習を終えて

まず、今回献体してくださった方、並びにご遺族の皆様にご感謝申し上げます。

将来医療に携わる者として、大変貴重な経験をさせて頂きました。約三か月に渡って実習を行いました。また、献体してくださった方の人生の重みを考えながら毎日黙とうを行いました。また、教員方に指導して頂きながら、他の学生とともに丁寧に勉強させて頂きました。教科書だけでは理解し得ないことを勉強できたと思いますし、同時に自分の知識不足も実感し、より一層の努力を重ねていこうと思いました。

献体することは、新しい医療人を育てるために必要不可欠なことで、後世の医療の発展のために大変尊い選択だと思います。医療者となる者として改めて命の大切さを考える機会となり、責任を感じました。この経験を忘れず、医学、歯学の道で精進していききたいと思います。

今回の解剖実習にご協力いただいた全ての方に重ねて深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

貴重な経験

今回の解剖実習はとても貴重な経験となった。献体をしてくださった方にはとても感謝している。ありがとうございます。

実習を通して感じたことは、やはり教科書などで写真を見て学ぶより、実際に目で見て学習するほうが、より深く理解でき、多くのことを学ぶことが出来た。また、座学だけでは得られない知識やスキルも多く身につけることが出来た。

実習で驚いたことは、当然のことかもしれないが、一人一人の人体の構造（器官の形や大きさ、色、位置など）が全く異なっていたことだ。事前に学んでいたものと実際の体には大きな差異があり、なかなか一辺倒にはいかなかった。そのため、私は将来歯科医師になる予定だが、人はみな違う体質を持つことを理解し、患者一人一人にあった診察、治療を行わなければならないと強く感じた。

この短い文章におさまりきれないほど多くのことを学ぶことが出来た実習となった。この経験を必ず将来に生かしたいと思っている。

解剖実習を終えて

初めに、ご献体してくださった方々、ご遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。非常に貴重な経験をさせていただきました。

教科書や資料に載っている図や写真などを見てイメージしていたものに対して、実際に自分の目で見た人体の構造は大きさや形、位置関係など異なっていることが多かったです。そのため、講義を受けるのみの学習よりも予習をして臨む解剖実習のように自分の手を動かし、特定したものの方がより確かな知識を深く理解し、決して忘れることはないと感じました。

また、実際の人体の構造には左右差や個人差があることが印象に残っています。人間は一人一人構造にも個性があり、個人差などの違いがあるものの生きていくのだと実感し、改めて患者一人一人にあった治療法を考えることや対話することが大切であると感じました。

この実習を通して、知識の習得だけでなく医療従事者になるにあたっの心構えができました。そして、学んだことを将来生かせるように日々努力をしようと思います。重ね重ねにはなりますが、このような学びの多い実習は献体してくださる方々がいないと成り立ちません。本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて学んだこと

初めに、私たち歯学部歯学科の学生の学習のために献体してくださった方、そしてそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。今回行った解剖実習を通じて、私は非常に多くのことを学ばせていただきました。一つは、人体の臓器や器官を実際に観察することでその機能を自分から考察し、その役割を深く理解することにつながりました。また、歯と顔面の神経との関係について実際に観察することで、歯科医師の臨床現場における様々な症例とどういった関係があったのかを知るための手助けになりました。

いままで学習してきたことが本当に体内に存在し、それぞれ多くの器官がかわりあうことで人としての機能が成り立っているということに深い感動を覚えました。こういった学習経験は決して座学では得られるものではなく、必ず私が将来歯科医師として働くときに役立つでしょう。日本の歯科医療の最先端に立つような歯科医師になれるようこれからも日々精進してまいります。改めて、心より御礼を申し上げたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

解剖実習を経験して生じた自分自身の変化

私は解剖実習をする前、本当に自分なんかにはできるのだろうか、とても不安でした。なぜなら、ご遺体と向き合った経験が今まで一度もなく、見るだけでもとても怖かったからです。また「もし、自分のせいで失敗してしまったらどうしよう」と考えてしまい、自分が最後まで解剖実習を行えるのかとても不安でした。しかし、そんな思いで解剖をしたら献体してくださった方に失礼だなと思いました。自分を変えなければならぬと固く決心して解剖に臨みました。はじめはやはり怖かったですが、解剖をしていく中で新たな発見に出会い、気づけば無我夢中に解剖をしていました。解剖が終わったあと、ここでもっとうまくこうすればよかったのにと後悔している自分がいました。以前の自分とは大きく変わったなと思います。

私は将来矯正歯科医になりたいと思っています。人の痛みをなくし笑顔を作りたいです。そのためには歯だけではなく全身の血管や神経、そして筋肉について深く理解していなければなりません。本当に素敵な笑顔を作るために、将来私は解剖学的研究をしながら歯科治療に携わりたいと思います。解剖実習のおかげで歩むべき道が見つかりました。本当にありがとうございました。

解剖によって得られた重要な経験

はじめに、献体してくださった方、並びにご遺族の方々に厚く御礼申し上げます。

解剖実習での経験は貴重で私たちの学生としての教養になったと思う。この実習の前は、人体を解剖することの必要性に疑問を持っていた。なぜなら、動物の解剖すら私はしたことがなかったからだ。

しかし、解剖によって自分の目で実際の人体の構造を見ると、教科書で示されている図で見たものが、どれかわからないほど複雑で、いかに教科書が簡潔に書かれたものかということがわかった。このような複雑な構造を理解し、説明ができるように図によって表したことの学問としての重大さを、解剖実習によって痛感した。また、このような図と実際の人体の違いは、実際に見ることによってしか理解できないものだと思った。

ここで得られた感覚は、私たちがこれから学ぶなかで常に活かされるものだ。この実習の中で自分自身の目で見た経験と、感じた学問を作り上げた先人たちへの尊敬を忘れることなく、歯科医師としての道を進んで行きたい。

教科書では学べない貴重な経験

題名にもある通り、今回の解剖実習を通して、教科書を見る、講義を聞いてい
るだけでは理解できないことを数多く学べたと感じました。例えば、神経や血管
などの細かい位置関係など、実際に遺体を解剖して見てみると、教科書通りでは
ないもの、個人差があるようなもの、などが沢山あるということを視覚的に知る
ことができました。実物を実際に目で見る、ということは記憶に残りやすく、学
ぶ上で非常に有意義であるということを実感しました。

またただ知識を得るということだけではなく、実際に人体に触れる経験を得
たことで、自身が人体を扱う職業に就くこと、そしてそれが精密な作業を求めら
れることが実感できました。そういったことはわかっていたつもりでしたが、今
回の経験を通してより一層感じるようになりました。

身が引き締まる思いであり、人体解剖というものは知識を得るのみならず、将
来医療者となる者に今一度そのことを自覚させ、今後の勉学に励み、患者に真摯
に向き合うことの礎になるでしょう。このような機会を与えてくださり、ありが
うございました。

人体解剖学実習を終えて

人体解剖学実習のために献体してくださり、献体してくださった方とそのご遺族の方に心より御礼申し上げます。

ご遺体を解剖するのと並行して、人体について勉強していました。講義を聴いた段階で理解しているような気になっていましたが、解剖することで自分がしつかりと理解できていなかったことに何度も気づきました。また、実際にご遺体を解剖すると、教科書で学び理解していたことを自分の目で直接確認することが出来、理解がより深まったと思います。また、個人差など、人間の身体が教科書通りではないということを改めて実感し、とても有意義でした。

また、今回解剖学実習を行うことで、将来、歯科医師として働くということの自覚や責任を感じました。

人体解剖学実習では、とても貴重な経験をする事が出来ました。この実習で学んだことは、将来、大いに役に立つだろうと感じています。この経験を最大限に生かして、これからも勉学に励みたいと思います。本当にありがとうございます。

人体解剖実習を終えて

初めに、献体してくださった方、並びにご遺族の方に厚く御礼申し上げます。

解剖実習前、自分がご遺体にメスを入れることに対する戸惑いを感じていました。しかし、私達学生が、ご遺体に触れることができるのは、医学・歯学の研究・発展のため、献体してくださった方、並びにご遺族の方をはじめとした多くのご理解、ご協力のおかげであると感じるようになりました。

その後の二ヶ月ほどの解剖を通して、座学だけでは得ることのできない歯科医師として必要な知識・経験を積むことができようと思われま

す。未だ歯学部の一学生に過ぎない身ではありますが、献体してくださった方のご遺志に報いるためにも、今後も解剖実習で経験したことを忘れず、歯科医師として活かすため精進していきたいと思

います。最後に、ご献体してくださった方、並びにご遺族の方に重ねて御礼申し上げます。

人体解剖実習の感想

解剖実習という貴重な体験をさせてもらうために、献体してくださった方にとっても感謝しております。自身の体を未来の為に献体してくださるという行動に感銘を受け、自分もより献身的に生きていこうという考えが芽生え、この解剖実習は自分の人生に深い意味を与えるものでありました。

実習に関しては、事前学習をして授業に取り組んでいたので大体の人体の構造は把握していたつもりだったのですが、実際は筋肉、血管、神経とかなりの部分が解剖書とは異なった場所に配置されており、人体解剖学の複雑さ、および深さを痛感させられました。またこの実習が始まる前にその日行う部位の単語テストを実施していただけたおかげで、復習しながらスムーズに実習を行うことが出来ました。そして、座学において自分で勉強した部分を実際に観察し、学ぶということは何ものにも変え難い貴重な経験でした。

このような大変貴重な機会を与えていただいたので、それを活かせるように頑張っていきたいと思います。

解剖学実習を終えて

初めに、解剖学実習を行うにあたり献体に協力してくださった方々及びそのご遺族の皆様にご心より感謝申し上げます。

人体の構造について勉強する上で正直私は教科書や講義で十分だろうと思っていました。しかし色や質感、立体的な構造など教科書とは違うことだらけで、何度も見比べたり班員と話し合ったり、時には教えていただいたりしてようやく理解できるというものでした。また、自ら積極的に作業することで、受動的に勉強するよりもより理解が深まったように思います。さらに、構造を正しく理解できたことで発生学や組織学などその他の分野にも役立たせることができました。

ご遺体を実際に目にし、解剖することで私は今後医療従事者として生身の体と向き合っていくのだという実感がわきました。この経験を今後の勉強、仕事に生かすことができるようより一層努力していきたいと思います。改めまして、このような貴重な機会を提供していただき、本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて

初めに、献体をしてくださった方々、及びそのご遺族の方々に心より感謝申し上げます。実際に解剖し観察するという経験はとても貴重なものであり、献体してくださる方々や周りの方々の尊いご意思とご協力のもと成り立つものなのだということを実感しました。本当にありがとうございました。

解剖実習では教科書・参考書の通りではない人の体の構造に驚いたり、講義で習ったことへの理解がより深まったりと、発見と学びの連続でした。もちろん冷静にどっしりとした気持ちでご遺体と向き合うことは容易ではありませんでしたが、日々感謝の気持ちをもちながら、私たちなりの覚悟をもって実習に臨ませていただきました。講義で聞いたり二次元の図や写真を見るだけでは理解できなかったことが実習を通して理解でき、この時間がいかに自分たちの学習にとって必要なことであるのかを改めて感じました。とても貴重で代えがたい機会を頂いたと思います。

解剖実習を通して学んだこと、感じたことを忘れず、今後も勉学に励んで立派な歯科医師になれるよう精進したいと考えています。この実習に携わってくださった全ての方々に感謝しております。ありがとうございました。

解剖実習を終えて

献体してくださった方々、またそのご遺族の方々に深く感謝申し上げます。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。参考書や授業の資料でしか見たことが無かったので、実際に遺体を解剖することによってより一層人体の構造に対する理解が深まりました。特に解剖を通して、それぞれのご遺体の個人差がわかり、実際に見てみないとわからないことも知ることができました。

将来、この機会で学んだ貴重な経験は間違いなく、歯科医師としての成長の糧となるでしょう。また、歯学に対する勉強のモチベーションの向上のきっかけとなりました。この実習で学んだことやこれから学んでいくことを十分に生かし、自分が理想とする歯科医師像になれるよう努力を惜しまず日々を過ごしていきたいと思いました。

最後に私たち学生のために献体してくださった方々及び遺族の方々に感謝の念を述べ、またこれからの医療の発展に尽力を尽くしたいと思います。

解剖実習を終えて

初めに献体してくださった方々、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。ご遺体を解剖するという大変貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

解剖実習では座学で人体の構造の基礎を学び、実際に解剖して人体の実際の複雑な構造を知ることができました。また、解剖という学問だけでなく、座学だけでは学ぶことのできない命の尊さや命と向き合うことについて深く考えさせられました。実際にご遺体を解剖してみると、人体の構造の美しさや、それぞれの臓器や神経がそれぞれの機能を発揮できるように配置されていることを知ることができました。

これから医療者という立場になる人間として、この大変貴重な経験は忘れることはできません。私はこれから歯科医療に携わっていくわけですが、今回のこの貴重な経験を生かして、一人でも多くの人の役に立てるようにこれからも勉強を怠ることなく、努力を続けていきたいと思っています。

最後に、献体してくださった方、ご遺族の方に重ねて御礼申し上げます。

命に触れる

歯学科のカリキュラムに人体解剖実習があるということは、入学当初から知っていましたが、実際に実習が始まった当初は非常に緊張しました。将来医療従事者になる身として、命の尊さを実感したからです。人体の構造は、座学で習ったものよりもずっと複雑で、しかしながら神秘的にも感じるような複雑な構造をしていました。自分たちの持っている知識と実際の身体を照らし合わせながら解剖を進めていくと、徐々に全身の構造についての理解が深まっていききました。その過程で、複雑な構造から成る人体を自分の目で見ることで、生命の尊さを認識することが多々ありました。

最後に、献体してくださった方々、及びご遺族の方々に心より感謝申し上げます。私たちはまだ研修医でもない未熟な学生です。しかし、今回の経験は私たちの医療人として生きていく覚悟を新たなものにしました。皆様のおかげで貴重な体験ができました。本当にありがとうございました。

ご献体くださった方とご遺族の方へ

ご献体してくださった方とご遺族の方に最大限の敬意と感謝を申し上げます。
本学では医歯学融合教育という名の下、歯学科の学生も全身解剖の経験を得ることができ、歯学科である私もこの機会をととても待望しておりました。この経験は、ご献体してくださった方とご遺族の方の御協力なしでは得られない貴重なものでありましたし、ご決断頂いたこと本当に感謝しております。

私たちは将来、歯学、医学の発展に必要な知識と経験はもちろんのこと、人間性も求められてきます。その人間性は、こういったご決断頂いた方々の思いを糧に培われるものであると私は考えており、今回の解剖実習は多大なる敬意と覚悟の下、行うことが出来ました。自分も将来歯科医師として人生を終えた後、ご会員の方々と同じように献体しようという決意が固まりました。このような貴重な経験を後世の医学生にも培ってほしいし、更なる学問の発展が生まれてくるために、この思いを継承していきたいと考えております。繰り返しにはなりませんが、ご献体してくださった方とご遺族の方に最大限の敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございます。

解剖学実習を終えて

献体してくださった方、ご遺族の皆さまに感謝を申し上げます。医学の発展とより良い医師・歯科医師教育の為に思い生前より献体の意思を示された方々に對して私は尊敬の念を禁じ得ません。

二年生の前期およそ三ヶ月かけて、実際のご遺体を用いて人体の構造を学びました。事前に人体の構造を学んでいましたが、その時分かった気になっていただけの知識が、実習を通して統合されていく思いでした。実習以前は分かりやすく色分けされた教科書の図で学習していましたが、実際の人体はもっと複雑で多様でした。また、血管や神経、筋肉、骨、そのどれも非常に繊細な構造で、こんな緻密な模型は作ることができない、献体してくださる方々あって初めて成り立つ私達の学びなのだと実感しました。

私はこの実習で、人体の構造を体得すると同時に、自分は人の命を扱う医療従事者になるのだという自覚を新たにさせられました。

私たちは歯学科の学生ですが、歯科医師にとっても全身の理解は必要不可欠です。この実習はそのための重要な助けとなりました。全人的な視点から患者さんの健康に貢献する歯科医師になるため、これから勉学に励んでいきます。本当にありがとうございました。

解剖実習を終えて

初めに、私たちの学習のために献体してくださった方とご遺族に心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスが流行している中で何とか対面で人体解剖実習を無事に最後まで終えられてよかったです。ご遺体を解剖することで、人体の細かい構造などの教科書を見るだけでは理解できないところを、実際に見ることで確実に理解することができました。人体は非常に複雑であるということを感じました。それに加えて、実際に自分の手で人体解剖を行うことで得ることができた経験はかけがえのないものだと感じています。

最初にご遺体と対面した際にはひどく緊張したのを覚えています。しかし実習が始まってからは今後私は医療者になるのだという覚悟を持って真剣に取り組みました。人体解剖を行っていく中で教科書通りにうまく解剖をすることができず、自分の技術不足による失敗もあったことは悔しい思い出として今も覚えています。今後の臨床で同様の手術を行う際には、失敗の内容により丁寧に行っていくと思います。今回の実習で得た知識と技能を最大限に活用してより多くの患者を救えるようになりたいです。

解剖実習で学んだこと

まずは献体してくださった方、ご遺族の方に感謝を申し上げます。

実習が始まる前の私は、専門科目を本格的に学び始めてまだ一か月程度の自分が解剖実習をさせていただくなんて、と少なからず緊張していました。しかし実習初日にご遺体を前にしたとき、それまでの緊張を忘れ、深い感謝の念に満たされました。そして「今の自分のできる限りを尽くし、学ぼう」と決意しました。医療従事者となるべく学ぶ覚悟を決めるという点において、このタイミングでの解剖実習は本当に大切な経験となりました。

今回の解剖実習を経て、事前に学んだ知識の確認だけでなく、人体の見方を学ぶことができたように思います。観察・同定の目印になるのはどの構造か、一般に共通する構造は何か、個人差が大きいのは何か、と実体験を以て初めて体得できる視点でした。勿論、今まで平面の媒体で見ていた人体の構造を、実際に立体的に観察して理解する、という意味でも大変勉強になりました。どちらも、今後専門的な内容を学び、歯科医師として人体に向かうにあたって欠かせないものだと感じます。

今回機会を頂いた貴重な経験の中で学んだことを忘れず、一層の努力を重ねたいと思います。

人体解剖学実習を終えて

まず、ご献体をして下さった方並びに御遺族の方々に、解剖学実習という貴重な経験を積む機会を与えてくださったことを深く感謝致します。

私たちは、実習期間中に於いても人体について座学として学んでいたとはいえ、やはり知識において未熟な面の否めない学生です。その学生たちが、自らの意思で献体して頂いた尊厳ある貴重な御遺体を解剖し、その過程で学んだ人体に関する知見を将来医療者として世に出る際の糧とすることの重大さと、歯学を志す人間としての在り方について考えました。目の前にいらっしゃる故人が、生前どのような思いで献体という選択をして下さったのかを考えると、実習中漫然と言われた通りの事をこなすだけでは良くないと感じ自分なりに必死に勉強させて頂きました。

この度の実習で得た経験を必ずこの先の研修等に活かし、歯科医師として一人前になれるよう努力していきたいと思えます。

解剖学の感想

今回の解剖実習はとても貴重な経験で、たくさんのことを学びました。初日に実習室に入った時の緊張感から、最終日に解剖台を掃除するまで、忘れられない経験でした。

解剖室に長時間いるだけだと思っていましたが、授業の余暇もたくさん知識を学ぶ必要があつて、毎日一生懸命勉強しました。ここ数ヶ月、勉強のモチベーションを維持してきたのは、実習期間中に一緒に勉強していた友人や質問に答える先生たちのおかげです。

初めの頃は実習を進める時、構造が見つからなくて先生を頼ることが多く、教科書通りではない構造があることにもどかしさを感じていました。しかし実習を進めていく中で、教科書と違う構造の観察に意味があることを理解し、見たことのない構造に出会うことが医学を学ぶ時に大切なことだと思っています。

今回このような経験をさせていただけたのは、ご献体してくださった皆さまとそのご遺族、先生や班員、多くの方の協力のおかげであり、本当に感謝しています。この実習で経験したこと、感じたことをこれからも忘れず、医学という学問を一生をかけて学び続けていきたいと思っています。

解剖実習を終えて

まず、ご献体してくださった方、ご遺族の方々に心より感謝申し上げます。おかげさまで、大変貴重な経験をすることができました。

一年生の教養科目を終え二年生になり、いよいよ将来に向けた本格的な授業や実習が始まる、というとても心が躍るような気持ちで解剖実習に臨みました。しかし同時に、東京医科歯科大学に入学して初めての本格的な実習ということもあり、緊張も大きかったです。いざご遺体と対面してみると、事前に学習してきたこととはまた違う発見があり、積極的に学習していました。座学とは異なり実際に手を動かすことで、より大幅に知識を習得できました。また今回の解剖を通して、将来歯科医師になる、という展望がよりはっきりしてきて、身が引き締まる思いでした。さらに、自分も将来同じように献体を希望し、後世に貢献したいという一つの夢が出来ました。班員と協力し、意欲的に学習できたことは、何物にも代えられない宝物です。

この解剖実習は、私自身が医療人に成長していくためのとても重要な糧となりました。社会に貢献できる歯科医師になるため、日々努力していこうと思います。

解剖実習を終えて

初めに、献体してくださった方、またそのご遺族の方、全ての方に感謝を申し上げます。

わたしは健康に貢献できる医療人を目指し、この大学に進学しました。ここで指す「医療人」とは、健康を守ることだったり、笑顔を作ることだったり、苦しんでいる人を助けるということを意味していました。しかし、今回の人体解剖実習を通して学んだのは、「医療人」になるということは「いのち」を預かるということなのです。私たちはまだ学生です。そんな未熟な私たちでさえ、今回の人体解剖実習を通して献体してくださった方のいのちを預かることになりました。もう、預かる前のわたしには戻る方ができません。それは、「医療人」としての人生がスタートしたことを意味し、それだけの覚悟が必要だということだと思えます。

改めて、未熟な私たちの「医療人」としての人生をスタートさせていただき、ありがとうございました。これから預かることになるたくさんの「いのち」も、今の気持ちを忘れずに向き合っていきます。

本当にありがとうございました。

人体解剖実習を終えて

私たちの人体解剖実習のために献体して下さった方々、ご遺族の方々に心から感謝申し上げます。実習の初日に初めてご遺体と対面した際、この方々にも生前ご家族がいたのだという事実が頭をよぎり、より感謝の気持ちと緊張感が大きくなったことを思い出します。

実際に解剖させて頂くことで、教科書では知り得ないご遺体による個人差や、身体の内部の細かい構造を勉強することができました。歯学科に特に関係のある頭頸部では、将来患者さんを治療する上で大切な神経などを、自分の目で見て知ることができ、大変有意義な経験となりました。

不安な気持ちでいっぱいの中始まった解剖実習でしたが、今全ての実習終えて、歯学生として成長させて頂いたと感じています。班員で協力して一生懸命に解剖し、分からないところはその場で先生に質問することができ、人体の構造を学ぶ上で最高の環境であったと思います。改めてこのような貴重な学びの機会のために献体して下さいました方々、ご遺族の方々に感謝申し上げます。この経験を活かし、立派な歯科医に慣れるように努力します。ありがとうございました。

解剖実習を終えて

まず、今回の解剖実習にあたり、献体して下さった方、そのご遺族の方々に御礼申し上げます。コロナ禍ということで多くの授業がオンラインで行われている中、人体解剖を対面で行う機会を得られたことを大変有難く思います。

実際に解剖をしてみると、教科書などで学んだ内容をより深く理解できましたし、個人個人によって細かな構造が異なること、また、人体の複雑さや神秘さに気づくことができました。頭頸部の解剖では、より事細かに構造物を確認しながら解剖を行うことで、理解が深まりました。とても貴重な機会になりました。

今後歯科医師になるにあたり、人体の全体の構造を理解することができたのは非常に貴重だと思つとともに、献体して下さった方やご遺族の方への感謝をかみ締めるばかりです。この経験は今後の学生生活や歯科医師になった後にも強く活きてくる、とても重要なものになったと実感しております。重ね重ね、御礼申し上げます。ありがとうございました。

貴重な経験となった解剖実習

まず、ご献体してくださった方、ご遺族の方、並びに東京医科歯科大学献体の会の皆様、実習のために準備してくださった先生方や教務の方々にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

解剖実習では、事前に座学で構造や機能・特徴などを習い、それを頭に入れた状態で解剖実習に臨みます。教科書や書類だけではわからなかった立体的な構造が、実際に手を動かして体感することで、とても理解が深まり膨大な量の情報が頭のなかで整理されていきました。しかし、実際にご遺体を解剖すると座学で学んだ通りの位置関係ではなく、人体の構造とは複雑でなおかつ個人差が大きいものだと初めて知りました。また、頭頸部の解剖では将来治療するときに重要である部位を実際に細かく見ることが出来ました。もし、この解剖実習がなかったら、位置関係が曖昧のまま治療に進むことになり、とても危険だし不安なことが多かったらと思うと思います。だから、解剖実習はとても有意義で私たちにとても大切な経験でした。

最後にこのような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。この経験をいかし、立派な歯科医師になれるよう精進してまいります。

人体解剖実習を終えて

まず、本実習にあたって献体をしていただいた方、および遺族の方に深く感謝申し上げます。

将来臨床の現場に立つことになる私たちにとって、初めて命と向き合うことになる機会であるのがこの解剖実習です。初めてご遺体と対面したときから実習を終えるまで、単に構造について学習するだけでなく、否が応でも倫理と向き合わざるを得ず、実習の間は様々な感情の裡での葛藤があり、自問自答の日々でした。ですが、この実習を通して私は歯科医療に将来携わる者として、医療を学び、人生をかけて倫理に向き合う覚悟ができたように思います。

また、医学部医学科のみならず、主に口腔領域を扱う私たち歯学部歯学科の学生にもこのように全身を解剖させていただくという貴重な機会をいただけたことはまぎれもなく献体してくださった方のおかげです。実習を通して学ぶことができた知識を将来の医学・歯学の進歩に役立て、臨床で向き合う患者さんの命を救うことが、私たちの責務であると痛切に感じております。

この感謝を忘れることなく、これから学修に邁進してまいります。

解剖実習を終えて

はじめに、献体してくださった方々とご遺族の方々に、わたしたちの貴重な学びの機会を与えてくださったこと、深く感謝申し上げます。

解剖実習が始まる頃は、実際に人体と対峙することへの漠然とした不安感と、未知の世界へ飛び込むような期待感を抱いていました。そしてこの解剖実習からひとつでも多くのことを学び得ようという決意とともにご遺体と向き合いました。歯学科の学生がこのように全身の解剖を行うことができるのは本当に貴重な経験であり、文字やイラストからではなく、実践的に身をもって得た知識と手に残る感触を、将来の歯科医師としての豊かさに繋げることができたらと強く思います。また、人体に関する専門的な知識だけではなく、生命あるものを扱うことの尊さやまたそれに必要な覚悟が犇々と感じられ、医療に携わる者としての責任感を学び得ることができました。

最後になりますが、献体してくださった方々に感謝の意を示すとともに、今後も研鑽を積みより豊かな医療人になりたいと思います。

解剖学実習を終えて

解剖学実習を振り返り、何よりも伝えたいことは、私たちの医学の教育のために献体してくださった方々への感謝の気持ちです。献体してくださった方々、ご遺族の方に深く御礼申し上げます。

解剖学実習を通して得たものは、私にとって計り知れないほど大きなものであると感じています。人体の構造については、もちろん教科書などを用いて座学で学ぶことができます。しかし、解剖学実習において、これまでに学んだ自らの知識を総動員させて考え、実際に手を動かし、深く観察することで、座学だけでは決して得ることのできない貴重な知識や経験を得ることができました。これほど充実した時間を送ることができたのは、献体してくださった皆様の協力があってこそそのことであり、皆様への感謝の念に堪えません。

さらに、解剖学実習を通して、私の中に将来医療に携わる者としての覚悟が芽生えたように思います。医療に従事するということは、相手に対して自らが責任を持つことであると、身をもって理解することができました。ありがとうございます。

最後に、献体してくださった方々、ご遺族の方々に深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

解剖実習を終えて

献体してくださった方々、またその御遺族の方々にまずは深く感謝を述べさせて頂きたいと思います。コロナ禍ということもあり、対面で行われる解剖実習は非常に学びの多いものでした。まだ、歯学科に入って二年目で、オンラインの授業が多く受動的に勉強をしてきた節もあったのですが、この解剖実習を通して、歯医者となり、今後患者さんと向き合っていく自覚が生まれました。本当に感謝しております。

解剖実習においては、自身と同じ志を持った学生達と共に、御遺体を解剖させて頂き、器官や構造を見ていく中で人体の構造を深く理解することができました。教科書で見えていた構造とは異なる構造も沢山あり、学びが深まると共に、今後自身が向き合っていくのは人の体であることをしっかりと再確認できました。思い通りに実習が進まない時も、同じ学生と助け合い、最後まで解剖実習をやり遂げたことは非常に自信にもなり、とても有意義な時間でした。そんな時間を過ごす機会を与えて頂いたことに感謝し、これからも勉学に励み立派な歯科医師になりたいと思います。本当に有難う御座いました。

解剖実習を通じて

初めての実習の日、身内以外では初めて亡くなった方と対面しました。その時は正直自分が解剖するということへの実感もあまりなく、心の中は不安や緊張でいっぱいでした。まだ人体の構造の知識も浅く、右も左も分からない状態でした。しかし実習を重ねていくうちに、そのような不安や緊張が薄れると共に、献体してくださった方への感謝の気持ちが増してきました。献体してくださった方がいるからこそ、私たちは体について着実に理解することができました。

人体の構造では教科書通りではないことも多く、また、複雑かつ三次元的な構造を座学だけで理解することは難しいでしょう。仲間たちと相談しながら、実際に自分の目で観察し、自分で考え、手を動かすことが必要不可欠であり、実習の時間は非常に濃密なものでした。解剖を通じて、将来の自分が行うことのビジョンが湧いてきて、医療者としての第一歩を踏み出すことができたと感じます。解剖実習で得た経験、献体してくださった方への感謝の気持ちをしっかりと胸に刻み、これからの歯科人生に活かしていきたいと思います。ありがとうございます。

解剖実習を終えて

まず、今回献体してくださった方、そのご遺族の方に感謝申し上げます。

今回の解剖を通して教科書や資料集だけでは学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。図や写真などの二次元では理解することが難しい構造や実際の人の体と教科書に書かれている図との違いなどを自ら献体を解剖し、見ることでより深い理解につながったと感じました。まだ知識が浅いため、解剖中に行き詰ってしまうこともありましたが、教員の方に質問をすることで疑問やまだ理解できていないことを少なくできるよう努力しました。自分で解剖を行ったことでより記憶に定着しやすく、授業などで解剖を行った場所などが出てきた際、その体験を思い出すことで授業の内容が理解しやすくなっていることを実感しました。また、実際に自分の手を動かして解剖をすることで人体に手を加えることの難しさなどを知ることができました。

今回経験したことを生かして、より知識があり、技術のある歯科医師になれるよう努力していこうと思いました。そして、この感謝の気持ちをこれから社会に還元できるよう尽力していこうと思います。